

今週のビルマのニュース 2008年8月15日【0825号】

「千人ちがいビルマ人と日本人が炎天下に民主化を求めて行進する姿に深く感動しました。この闘いの力を持続、拡大していけば、私たちは平和な国ビルマにきっと帰れます」

- 著名女性活動家のキンオンマー氏(9日、都内での講演で)

今週の主なニュース：8888記念日

・1988年8月8日に起きた民主化運動の武力弾圧から20年目だった8月8日。ビルマ国内ではアラカン州で数十人規模のデモがあり、参加者が逮捕されたがほとんどが釈放された。また最大都市ラングーンでは追悼の意を示す黒い服を着ていた人が多く見られたとのこと(8日付イラワディ誌)。

・世界各国でも記念行事があった。東京では在日ビルマ人を中心に約1000人がデモ行進をし、在日ビルマ大使館に声明文を提出した。

その他：国連人権特別報告者がビルマを訪問、ほか

・国連人権特別報告者のキンタナ氏が3日から7日までビルマを訪問し、宗教指導者やアウンサンスーチー氏率いる国民民主連盟(NLD)の幹部らと会談、獄中の政治囚と面談した。4日にはサイクロンの被害を受けたイラワジデルタを視察した。スーチー氏に会うことは認められなかった。

・サイクロン被災地域では住民が今も苦しい生活を送っている。現地で活動する国際援助機関によれば、米の収穫期である11月まで92万人余りが食糧援助を必要とし、そのうち30万人は来年4月まで食糧援助を必要とする。校舎が破壊されたため学校に行けない子どもも36万人いる(8日付AP)。

・国連は14日、ビルマの二重為替レートが原因で、サイクロン被災救援のための資金のうち156万ドルがこれまでに失われたと発表した。失われた分は軍政の収入になっている可能性が高い。

・11日付CNNによればアウンサンスーチー氏の自宅軟禁が1年延長された。ビルマの法律が定める拘束期間の上限を半年間超える。

ビルマへの政府開発援助(ODA)約束状況など

今週の発表はなし

イベントなど

・災害救援・チャリティイベント「しあわせ」を届けよう - ビルマ サイクロン・中国四川省大地震 (神楽坂 善國寺境内、16日12時~)

・ビルマ・ロヒンギャ難民(複数)難民不認定取消訴訟(福岡地裁302号法廷、19日13時15分~)

・連続セミナー第 期「外国籍の家族と子どもの今」第3回夏休み特別企画『日本の高校生・世界の高校生~feel globalization』ビルマ難民高校生の体験談あり(イエズス会岐部ホール上智大学隣り・聖イグナチオ教会内、23日13時半~) 要申込

・ブリッジ・エーシア・ジャパン「ベトナム・ミャンマー料理会」(アカデミー向丘、31日11時~) 要申込

・『ビルマ、パゴダの影で』DVD発売記念上映付きトークイベント(詳細は後日発表)(渋谷 UPLINK Factory、9月7日開映19時~トーク20時半~)

・ビルマのお祭「ダディンジュ祭(雨安居明けを祝う)祭」国民民主連盟(解放地域)日本支部主催(東京都北区王子・飛鳥山公園、9月21日11時~)

特定非営利活動法人メコン・ウォッチの季刊誌「フォーラム Mekong」、ビルマ特集の最新号が好評発売中。

もっと詳しい情報は

きょうのビルマのニュース(平日毎日更新)
<http://d.hatena.ne.jp/burmainfo/>

ビルマ情報ネットワーク
<http://www.burmainfo.org/>

お問い合わせ

ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀
yuki@burmainfo.org 080-2006-0165